

(資料－2)

センチピードグラス匍匐茎苗を使用した 農地畦畔緑化工法マニュアル



(有)田中農場・(有)アルファグリーン

センチピードグラスで被覆され、雑草の発生がほとんど無くなった理想的な畦畔

— 目次 —

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 匍匐茎苗の特徴 | P-1 |
| 2. 匍匐茎苗を使用した施工概要スケジュール | P-2 |
| 3. 植付畦畔の事前準備 | P-3,P-4 |
| 4. 匍匐茎苗の植付作業 | P-5, P-6, P-7 |
| 5. 植付作業後の維持・管理 | P-8, P-9 |
- (補足資料)
- ・ 資料－ 1 チガヤ根絶茎処理法
 - ・ 資料－ 2 匍匐茎苗の育苗

匍匐茎苗の特徴

匍匐茎苗とは？

- ◎センチピードグラス（ムカデ芝）のランナー（匍匐）から育苗した苗の総称。
- ◎鉢サイズの基本型「5cm×15cm×3cm」
この他に施工現場の要請に応じる多様なサイズを用意できる。



匍匐茎苗の長所

1. **育苗日数が短い（約25日間）**
1ヶ月前の発注でも対応可能（ピット苗では2ヶ月前）
2. **施工は軽作業** 高齢者、女性のみでも施工できる
3. **定植後の活着が早く、活着後の成長が旺盛**
ピット苗よりも雑草に負けにくい
9月施工も可能
4. **根鉢が崩れない** 移植時の根痛みが少ない

施工概要とスケジュール（標準施工 8月上旬）

施工畦畔事前準備

7月下旬～8月上旬

① 枯れ草の除去

前年度の枯れ草が繁茂していて
除草剤が散布しにくい時

② ラウンドアップ散布

ラウンドアップマックス
ロード50倍液 二度がけ
チガヤ対策

③ 枯れ草除去・法面整地

根に薬剤が作用して枯れ始めた
らOK（2週間以上経過すると夏
雑草が発芽してくるため）
法面を草ひとつない状態にする
つもりで



④ 匍匐茎苗の入手

入手先：（株）エコファーム鳥取
<https://ecofarm-tottori.com/>
入手後、定植まで日があるときは、
地面に直置きして、毎日灌水する。

ランナーが入手できれば自家育苗
も可能（補足資料2 参照）。

植付作業

8月上旬～8月下旬

⑤ 植付作業

1箱（7本/箱）/m²

定植前後にしっかり
灌水!!



雑草管理（高刈り）

8月下旬～10月上旬

⑥ 雑草管理

高刈り15cm 刈り払い機

植付後1ヶ月頃雑草の繁茂具合を見てお
こなう。匍匐茎苗はピット苗よりも生育
は旺盛なので、除草頻度を軽減できる。

刈草は必ず除去する！

順調に生育すれば11月頃までに3/4以上
被覆できる。



2年目以降 雑草管理（高刈り）

2年目の春は、雑草の発生状況をみて、適宜高刈りする。
被覆状態が良好であれば、雑草発生量は少ない。
2年目の夏頃までにはほぼ被覆する。
被覆後はチガヤの再生、クローバーの侵入に留意して
管理する。



施工畦畔の事前準備（１）

施工畦畔の事前準備（７月下旬～８月上旬，雑草を除き法面土壌を裸地状態にする）

- ① 除 草：除草剤の散布（７月下旬～８月上旬，ラウンドアップ50倍液）
（除草の目的：チガヤの駆除）



ラウンドアップ
（マックスロード）
50倍液
往復二度散布

チガヤは、ムカデ
芝にとって、天敵

チガヤ根絶茎処理法の
施工実施（補足資料1）

施工畦畔の事前準備（２）

② 枯れ草の刈り取り除去（７月下旬～８月上旬）



枯れ葉の地上部 刈取り

匍匐茎苗
（植付）
下地作り



表土が見えるまで深く刈払う

③ 雑草除去：畦畔土壌表面の苔の除去， 生存雑草の除去（７月下旬～８月上旬）

苔が残っていると
センチピードグラ
スから伸張した匍
匐根が土壌に活着
しづらくなる。

匍匐茎苗の植付作業（１）標準施工

匍匐茎苗の植付作業（８月上旬～８月下旬）



植付前灌水作業（乾燥防止）
[灌水作業は、植付箇所のみで可]



イネの育苗箱を用いた場合、1箱で7本育苗される



匍匐茎苗の植付作業（2）張芝方式

匍匐茎苗の植付作業（8月上旬～8月下旬）



植付後の状況（畦畔巾1.5m以下）

イネの育苗箱で作った匍匐茎苗を7本に分けずに全部を張芝的に定植することもできる。



植付後の状況（畦畔巾2.0m以上）

張芝方式による匍匐茎苗の植え付け

畦畔の巾	植付方法	苗の植付ピッチ
1.5m以下	直線	100cm
2.0m以上	千鳥	100cm

匍匐茎苗の植付作業（3）

匍匐茎苗の植付作業（8月上旬～8月下旬）



植付後の転圧作業
（地肌になじませる）



植付後の灌水作業
（夏場施工の為、活着するまで灌水をこまめにする）

夏季の高温乾燥期の定植になるため、乾燥対策をしっかりと講じること！！

苗の根が土壌と密着するようにしっかりと押しつけ、転圧して地肌となじませる。
（夏季の高温時期に施工するので、土壌の乾燥状況を確認しながら、植付後は、活着するまで、こまめに灌水を行うこと）

施工畦畔の維持・管理（1）

植付後の雑草管理（8月下旬～10月）

高刈り（10～15cmで雑草を刈り取る）

センチピードグラスが雑草で覆われないように適宜高刈りをおこなう。

定植1ヶ月経過頃が最初の高刈りの目安（雑草繁茂状況による）。

刈り取った雑草は必ず取り除くこと

ブロアー、動力散布機で吹き飛ばすと効率的



匍匐茎苗は活着後の生育がピット苗よりも早いので、雑草に負けにくい！
定植1ヶ月後の状況。雑草に負けずに旺盛に生育している。

張芝方式は、定植した段階でセンチピードグラスはひとつの群落になっているので、繁茂する雑草に覆われて生育が抑えられにくい。



雑草の多い畦畔に好適
標準施工よりも高刈り回数を減らすことができる

施工畦畔の維持・管理（2）

2年目以降の雑草管理（2年目の夏までの芝の被覆を目指して）

施工初年度、センチピードグラスが休眠に入るまでに3/4以上被覆できていれば、2年目の夏までにほぼ被覆できる。



ピット苗よりも良好な被覆状態を作りやすい



2年目の春は、雑草の発生状況を見て、適宜高刈りする。被覆状態が良好であれば、雑草発生量は少ない。

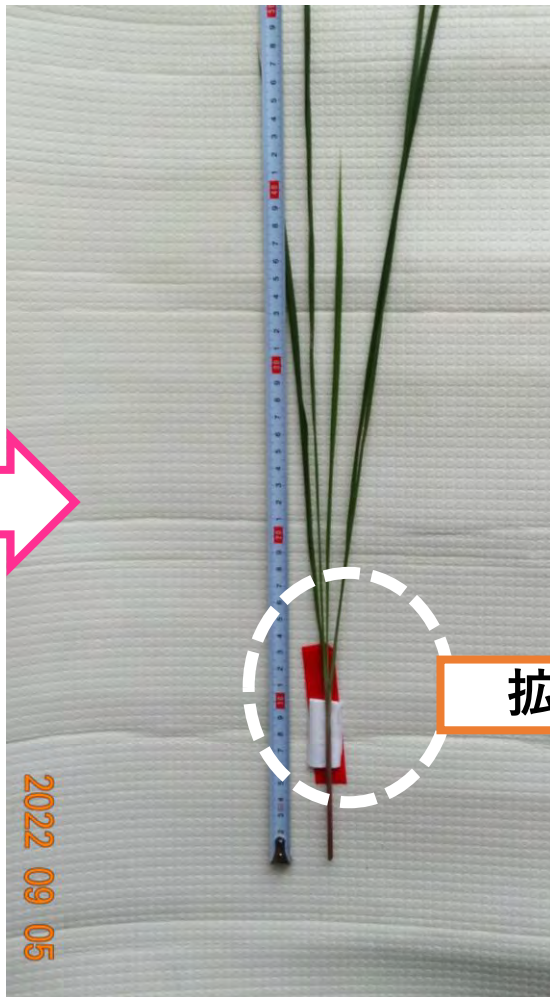
完成した被覆畦畔



(補足資料1)

チガヤ根絶茎処理法

ラウンドアップの茎処理



拡大

ラウンドアップ (25倍液)
をティッシュペーパーに吸着



(チガヤの茎に巻き付ける)

粘着テープ

匍匐茎苗の育苗 (6月中旬～7月下旬, 定植の前日までに)

① ランナーの採取



ランナー（匍匐茎）の先端
30cm程度を切り取る。
採取した匍匐茎は水を入れたバケツ
に入れ、切り口を水につけておく。



② 培養土を入れたイネ育苗箱にランナ植付け

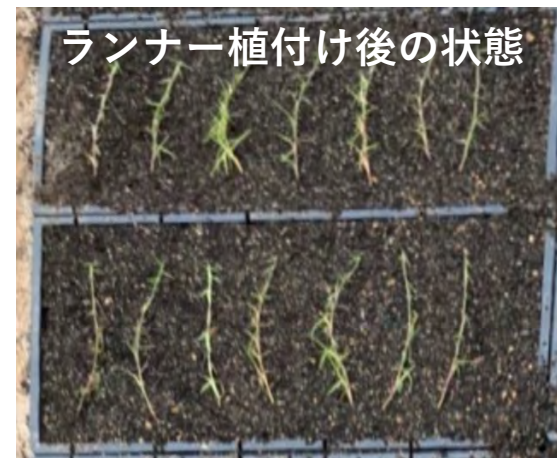


匍匐茎苗培養土の配合
(重量割合)
赤玉土：25%
鹿沼土：25%
エコ堆肥：25%
α グリーンの酵素25%

エコ堆肥：植物残渣堆肥（刈草、剪定枝、伐採木チップ等）
入手先（株）エコファーム <https://ecofarm-tottori.com/>
αグリーンの酵素（菌体特殊肥料）：発根と根の生育促進
入手先：？



切口をトレイ
底まで挿す



ランナー植付け後の状態

1箱：7本植が基本



先端から3葉目の節から発根するので、
この部位を押さえ木で土壌と密着させる。

(補足資料2)

匍匐茎苗の育苗 (2)

1. ランナー植え付け後、育苗ハウスに搬入
2. 押さえ棒の設置 (挿し穂の固定)
3. 気温40℃以下で管理する (温度計の設置)
4. 培養土が飽和するまで十分に灌水する (ハウス搬入後は霧状で葉水)
* 葉先の萎れ具合を見て、萎れているようであれば適宜灌水する。
5. 遮光ネットの被覆: 薄曇りや雨の日は遮光ネットは被覆しない
 - ① 搬入後の翌日は1日被覆する
 - ② 搬入2日目、太陽が出る前に遮光根ネットを取り除き、弱い朝に太陽光を当てる (午前8時まで) その後再度被覆する
 - ③ 搬入3日目以降は、出来るだけ太陽光に当てる (萎れの状況で判断する)
(通常の場合、差し穂後3日目に発根する)
 - ④ 発根 (節根が5mm以上) を確認したら、太陽光に当てる時間を長くする
6. 鉢根が崩れない「根張」は挿し穂後30~40日で完成

